



平成18年2月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年12月26日

会社名 株式会社サンワド

(JASDAQ・コード番号：7430)

(URL <http://www.sanwado.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中村 勝弘 TEL:(017) 782 3200

責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 葛西 昭蔵

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 税金費用の計算及び影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年2月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年2月21日～平成17年11月20日）  
 第3四半期財務・業務の概況（連結）について、売上高以外は当連結会計年度より作成しておりますので、前年同四半期における数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年2月期第3四半期	22,663	(0.4)	246	( )	224	( )	121	( )
17年2月期第3四半期	22,743	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
(参考)17年2月期	30,717		89		101		51	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年2月期第3四半期	23	08		
17年2月期第3四半期				
(参考)17年2月期	9	81		

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における地場経済は、鉱工業生産に増加は見られたものの、需要・雇用面が改善せず、依然として個人消費は低迷を続けています。また、競合店の出店が相次ぎ、営業環境は一層厳しさを増しています。その中で当社の売上は、ザ・サンワ柏店効果、業務スーパー部門の続伸、季節商品の早期展開により第2四半期以降は好転してきたものの、第1四半期の天候不順による落込みをカバーしきれず、前年同期比では0.4%減少となりました。一方、利益に関しましては、期初以来進めていた粗利率改善と経費削減が効果に結びつきました。

この結果、当連結第3四半期の連結売上高は22,663百万円、営業利益は246百万円、経常利益は224百万円、第3四半期純利益は121百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第3四半期	20,543	4,489	21.9	850 24
17年2月期第3四半期				
(参考)17年2月期	19,561	4,344	22.2	822 86

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年2月期第3四半期	783	117	351	1,296
17年2月期第3四半期				
(参考)17年2月期	344	168	642	746

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は20,543百万円となり、前期末比98.1百万円の増加となりました。

また、株主資本は前期末比14.4百万円増加となり、株主資本比率は21.9%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、783百万円となりました。

主に、仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、117百万円となりました。

主に、保証金・敷金の返金による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、351百万円となりました。

主に、短・長期借入金の返済によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比較して549百万円増加し、1,296百万円となりました。

3. 平成18年2月期の連結業績予想（平成17年2月21日～平成18年2月20日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	30,800	240	120

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 22円 73銭

[参 考]

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点においては、平成17年10月6日の中間決算発表時の通期連結業績予想から見直しをいたしておりません。

添付資料

(要約)第3四半期連結貸借対照表

(要約)第3四半期連結損益計算書など

以上

## 〔添付資料〕

## 1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年2月期第3四半期末)	(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,317,680	772,729
受取手形及び売掛金	564,423	341,430
たな卸資産	5,583,114	5,111,211
その他	250,635	262,977
流動資産合計	7,715,854	6,488,349
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	8,142,276	8,308,064
無形固定資産	23,967	24,204
投資その他の資産	4,661,108	4,741,280
固定資産合計	12,827,352	13,073,549
資産合計	20,543,206	19,561,898
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,603,451	3,762,254
短期借入金	2,970,000	3,430,000
一年内返済予定長期借入金	1,946,060	2,161,160
一年内償還予定社債	600,000	300,000
その他	882,811	592,312
流動負債合計	11,002,322	10,245,726
<b>固定負債</b>		
社債	2,650,000	1,730,000
長期借入金	2,221,230	3,071,900
その他	180,621	169,352
固定負債合計	5,051,851	4,971,252
負債合計	16,054,174	15,216,979
<b>(資本の部)</b>		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	2,983,484	2,888,460
その他有価証券評価差額金	53,846	4,757
自己株式	128	128
資本合計	4,489,031	4,344,919
負債及び資本合計	20,543,206	19,561,898

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年2月期第3四半期)	(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額
売上高	22,663,706	30,717,057
売上原価	17,812,435	24,359,009
売上総利益	4,851,271	6,358,047
販売費及び一般管理費	4,604,566	6,268,332
営業利益	246,704	89,715
営業外収益	107,606	178,031
営業外費用	129,917	166,260
経常利益	224,392	101,485
特別利益	1,529	17,367
特別損失	7,263	114,203
税金等調整前四半期(当期)純利益	218,658	4,649
税金費用	96,786	55,976
四半期(当期)純利益	121,871	
四半期(当期)純損失		51,326

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期 (平成18年2月期第3四半期) 金 額	(参考) 平成17年2月期 金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期(当期)純利益	218,658	4,649
減価償却費	180,742	266,921
売上債権の増加額	222,992	34,473
たな卸資産の増加額	471,902	144,696
仕入債務の増減額(減少：)	841,196	246,346
その他	217,353	162,220
小 計	763,055	8,274
法人税等の支払額	88,498	253,399
その他	67,781	99,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	783,772	344,483
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	15	187,101
有形固定資産の取得による支出	17,735	153,425
投資有価証券の取得による支出	9,585	12,339
投資有価証券の売却による収入	3,756	79,445
保証金・敷金の差入による支出	79,858	203,352
保証金・敷金の返金による収入	211,642	235,907
その他	9,581	35,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	117,815	168,740
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,130,000	3,870,000
短期借入金の返済による支出	1,590,000	3,888,000
長期借入れによる収入	930,000	2,655,000
長期借入金の返済による支出	1,995,770	3,146,192
社債の発行による収入	1,480,500	1,274,700
社債の償還による支出	280,000	70,000
配当金の支払額	26,382	52,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	351,652	642,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	21
現金及び現金同等物の増加額	549,935	466,998
現金及び現金同等物の期首残高	746,443	279,444
現金及び現金同等物の期末残高	1,296,378	746,443

#### 4. 販売の状況

当四半期における事業の種類別セグメント及び部門別・商品別販売実績は、次のとおりであります。

(単位：千円、%)

区 分		当四半期 (平成18年2月期第3四半期)		(参考) 平成17年2月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比
小 売 事 業	ホームセンター部門				
	カー・レジャー用品	2,600,450	11.5	4,072,767	13.3
	リビング用品	7,945,378	35.0	10,531,090	34.3
	D I Y用品	5,186,146	22.9	6,252,004	20.3
	カルチャー・ホビー用品	1,671,728	7.4	2,430,830	7.9
	小計	17,403,703	76.8	23,286,693	75.8
	専門店部門				
	家電	1,104,774	4.9	1,715,992	5.6
	カー用品	1,506,041	6.6	1,962,313	6.4
	ブランドショップ	951,858	4.2	1,577,311	5.1
	業務スーパー	1,340,505	5.9	1,702,337	5.6
小計	4,903,179	21.6	6,957,955	22.7	
小売事業計	22,306,882	98.4	30,244,648	98.5	
卸売事業	356,823	1.6	472,409	1.5	
合計	22,663,706	100.0	30,717,057	100.0	

(注) 1. 数量については取扱商品が多岐にわたり数量表示が困難なため記載を省略いたしました。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ホームセンター部門の商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

(1)カー・レジャー用品(カー用品、自転車、釣用品、スポーツ用品、レジャー用品、衣料・シューズ等)

(2)リビング用品(日用雑貨用品、家庭用品、インテリア用品、家電用品、季節催事用品)

(3)D I Y用品(日曜大工用品、エクステリア用品、園芸用品、作業用品、ペット用品)

(4)カルチャー・ホビー用品(装身具、文具、玩具、CD、ビデオテープ)

4. 専門店部門の業務スーパーの商品構成内容は、農林水産・畜産物及びその加工食品、冷凍食品等であります。